

【都市計画市素案説明会】議事要旨（わかりやすくするため、図や表現の追記などを行っています。）

2022年11月19日（土）19:00～20:15 旭区公会堂 参加者14名

質問	市の回答内容
<p>現況交通量と将来交通量の2つの資料があったが、現況交通量は1年のうちどの季節を調べたものか？</p> <p>将来交通量は、土地区画整理事業終了時 花博開催時 花博後 どの時点の将来を予測したものか？何年ごろか？</p> <p>環状4号線（海軍道路）の拡幅計画について、鎌倉の段葛のように現状の道路を真ん中の歩道にして両側に2車線ずつの車道を新設する市民案があったと思うが、それについては検討したのか？</p> <p>公聴会がある場合、公述人が多数だと抽選で10人になるという説明があったが、なぜ10人までなのか？</p>	<p>現況交通量は、令和元年5月に調査を行ったものです。</p> <p>将来交通量は、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくり全体ができ上がった将来の定常的な交通量を予測しており、年次は公園完成後の2046年としています。</p> <p>環状4号線（海軍道路）の桜並木は、毎年樹木診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいます。このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考えから、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>また、環状4号線は主要な幹線街路であり、緊急輸送路であるため、土地区画整理事業区域内の北側と南側の起終点が既成市街地との関係で固定されている状況を踏まえて、両地点の車道を直線で結ぶ計画としています。</p> <p>公述人の選定は10名程度までとし、抽選で決める旨が横浜市都市計画公聴会開催要領で定められているためです。</p>
<p>配布資料にある3・4・3号環状4号線の黄色い線で示された変更前（拡幅前）の断面図に現在植えられている桜の木が描かれておらず、拡幅後に植樹するような図になっているが、なぜ変更前の桜が描かれていないの</p>	<p>変更後の計画内容の説明に重きをおいた図としているため、現況の桜は記載していません。</p> <p>変更後の街路樹については、拡幅後の歩道において、しっかり桜並木を</p>

<p>か？これは印象操作では？</p>	<p>再生していきます。 また、ホームページ上で公開している動画および説明会で使用したスライドでは、変更前の桜を記載しています。</p>
<p>細谷戸団地北側の現道については、歩道や横断歩道、信号がないため、事故が発生する。このような道路計画をきちんと立ててくれたことに感謝する。</p> <p>瀬谷区は事故件数が市内で1位になったことがあり、歩道・横断歩道・信号の整備をしっかりと欲している。</p> <p>道路整備については、手抜き工事をしないでしっかりとやってほしい。</p> <p>上川井瀬谷1号線、2号線の工事について、地元住民への説明会等は開催するのか？</p>	<p>横断歩道や信号の設置等の安全対策については、警察とも協議しながら進めていきます。</p> <p>工事を進める段階で説明をしていきたいと考えています。</p>
<p>新設される3・3・53号上川井瀬谷1号線のB'断面のあたりに自分の土地がある。この辺りには昔から砂利敷の農道があるが、新設される道路は農道とは接続するか？</p> <p>既存の道路は雨が降ると走りづらく、新設道路と接続することで、2方向から行けるようにしたい。</p>	<p>3・3・53号上川井瀬谷1号線の東側に並行して農道を整備する計画です。</p> <p>3・3・53号上川井瀬谷1号線との接続については、旧上瀬谷通信施設地内の南側で接続する予定です。あまり多く接続箇所を作ってしまうと、農道に車が流入してしまうので、接続箇所は1箇所です。</p>
<p>埋蔵文化財調査や土壌汚染調査等を進めている中で、不発弾が見つかったという話もあるので、本当に気をつけて工事を進めて欲しい。</p>	<p>これから本格的に工事を実施していきますので、工事を安全に進めていくための検討を行っていきます。</p>

環状4号線海軍道路の拡幅計画について、鎌倉の段葛のような検討は行ったのか再度聞きたい。

2046年の交通を予測したとのことだが、ズーラシア渋滞との関連性はどうか？

将来の交通需要に対応するため、環状4号線は幅員31mに拡幅するとしており、桜並木については、拡幅後の歩道の中で再生していきたいと考えています。

鎌倉の事例（鶴岡八幡宮の段葛）についても同様に、老木化している桜を植え替えながら再整備を行ってきたと認識しています。

旧上瀬谷通信施設地区周辺から遠方に向かって車が分散していくことが考えられるため、交通の影響は少ないと考えています。また、同地区に駐車場等の受け入れ態勢を整えることでも渋滞対策を検討していきます。

さらに環状4号線、八王子街道の整備や、地区内に2本の道路を新設し、地区外においても三ツ境下草柳線や瀬谷地内線等の道路を整備し、体系的に道路ネットワークを構築する事によって交通の分散・混雑の緩和を図っていきます。

